

グループ通算の達人(令和04年度版 以降)

fromTACTiCS財務22 運用ガイド

この度は、「グループ通算の達人(令和04年度版 以降) fromTACTiCS財務22」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「グループ通算の達人(令和04年度版 以降) fromTACTiCS財務22」は、全国税理士データ通信協同組合連合会の「TACTiCS財務」の会計データを「グループ通算の達人 [個社処理用]」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「グループ通算の達人(令和04年度版 以降) fromTACTiCS財務22」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール方法	5
1.「達人Cube」からアップデートする場合	5
2.「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
1.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしている場合	11
2.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を別のコンピュータにインストールしている場合	12
5.操作方法	13
1.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしている場合	13
2.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を別のコンピュータにインストールしている場合	21
6.連動対象項目	32
「TACTiCS財務」から連動するデータ（連動元）	32
「グループ通算の達人〔個社処理用〕」に連動するデータ（連動先）	33
貸借対照表	34
損益計算書	35
製造原価報告書	36
株主資本等変動計算書	37
個別注記表	38
入力用帳票〔六（一）・八（一）〕	39
別表十四（二）	40
別表十五	41
7.アンインストール方法	42
8.著作権・免責等に関する注意事項	43

1.対応製品

「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」に対応するNTTデータの対応製品及び全国税理士データ通信協同組合連合会の対応製品は以下のとおりです。

会社名	対応製品
株式会社NTTデータ	グループ通算の達人（令和04年度版）[個社処理用] Professional Edition
全国税理士データ通信協同組合連合会	TACTiCS財務22



注意

本書は、出版時点での最新プログラムの画像を使用しています。

2.動作環境

「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」に必要な動作環境は「1.対応製品」（P.3）に記載の全国税理士データ通信協同組合連合会の「対応製品」と同様です。



注意

- ・「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」のインストールやプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」（P.3）に記載の全国税理士データ通信協同組合連合会の「対応製品」をインストールしている必要があります。
- ・「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」の起動中に、「TACTiCS財務」の起動、及びアンインストールはできません。

3.インストール方法

「グループ通算の達人(令和04年度版 以降) fromTACTiCS財務22」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。

1.「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



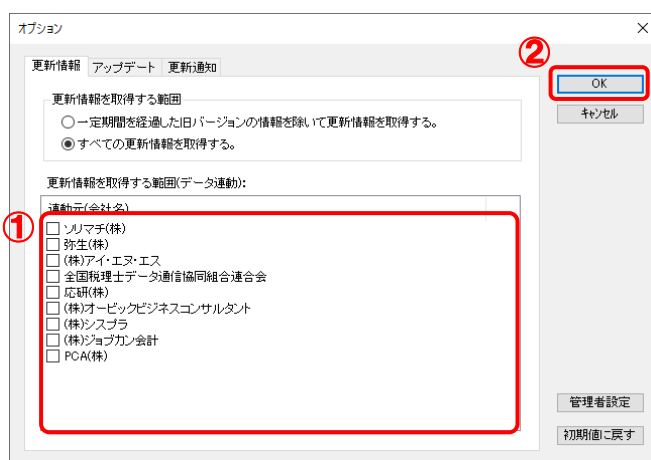
[アップデート] 画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブー[更新情報を取得する範囲(データ連動)]において該当の[連動元(会社名)]をクリックしてチェックを付け(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



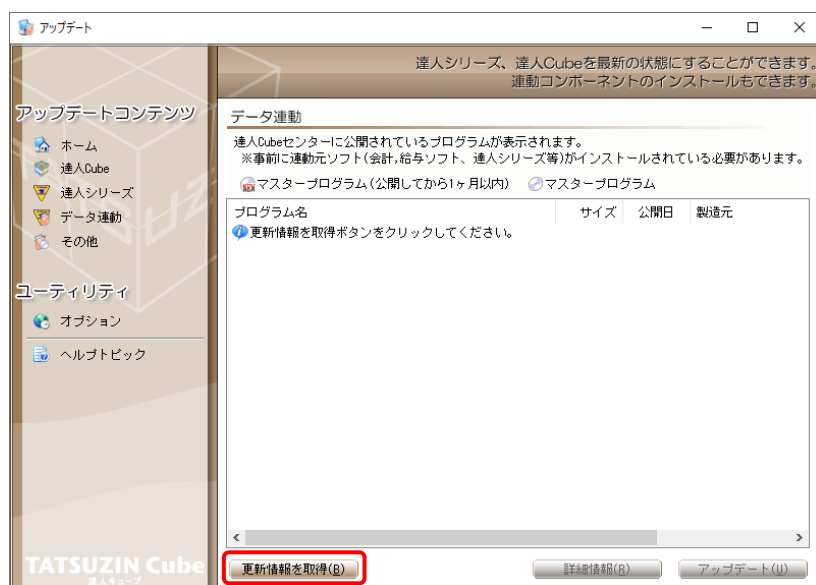
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



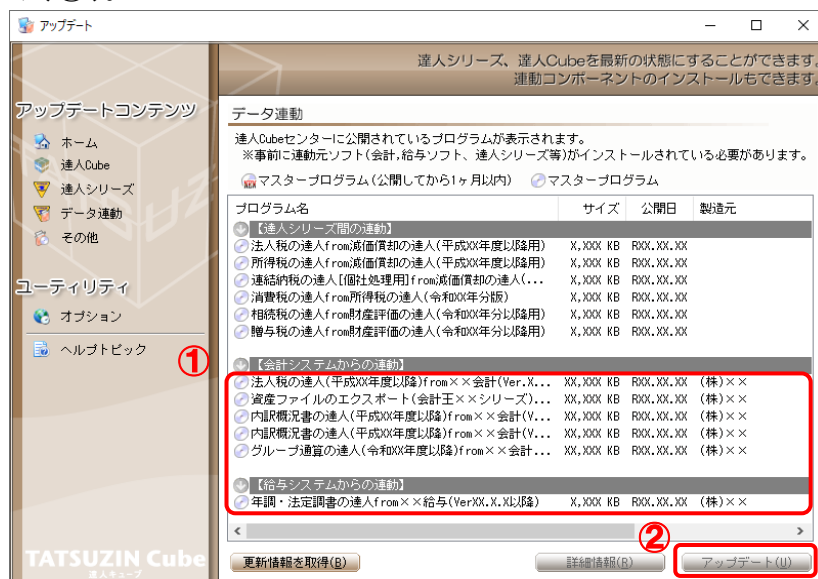
「データ連動」画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[セットアップ] 画面が表示されます。

7. [次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の指定] 画面が表示されます。

※ インストール先を変更する場合は[参照] ボタンをクリックします。

8. インストール先のフォルダを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

[インストール準備完了] 画面が表示されます。

9. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

10. [セットアップウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「グループ通算の達人(令和04年度版 以降) fromTACTiCS財務22」のインストールは完了です。

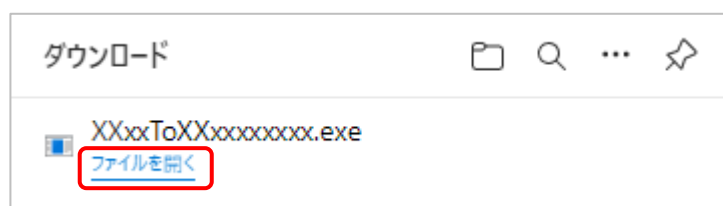
2.「達人」オフィシャルサイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動会計・給与ソフトの連動コンポーネントダウンロードページ
(https://www.tatsuzin.info/rendousoft/rendou_download.html)を開きます。



2. 該当の「達人シリーズ」のソフト名をクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカー一覧画面が表示されます。
3. 該当の連動会計・給与ソフトメーカーの[ダウンロード]をクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。
4. 該当の連動コンポーネントの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。
画面の右上に「ダウンロード」画面が表示されます。

5. [ファイルを開く]をクリックします。



[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されます。

6. [はい]ボタンをクリックします。

[セットアップ] 画面が表示されます。

7. [次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の指定] 画面が表示されます。

※ インストール先を変更する場合は [参照] ボタンをクリックします。

8. インストール先のフォルダを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

[インストール準備完了] 画面が表示されます。

9. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

10. [セットアップウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」のインストールは完了です。

4.運用方法

「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」は、「TACTiCS財務」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしているかどうかで異なります。

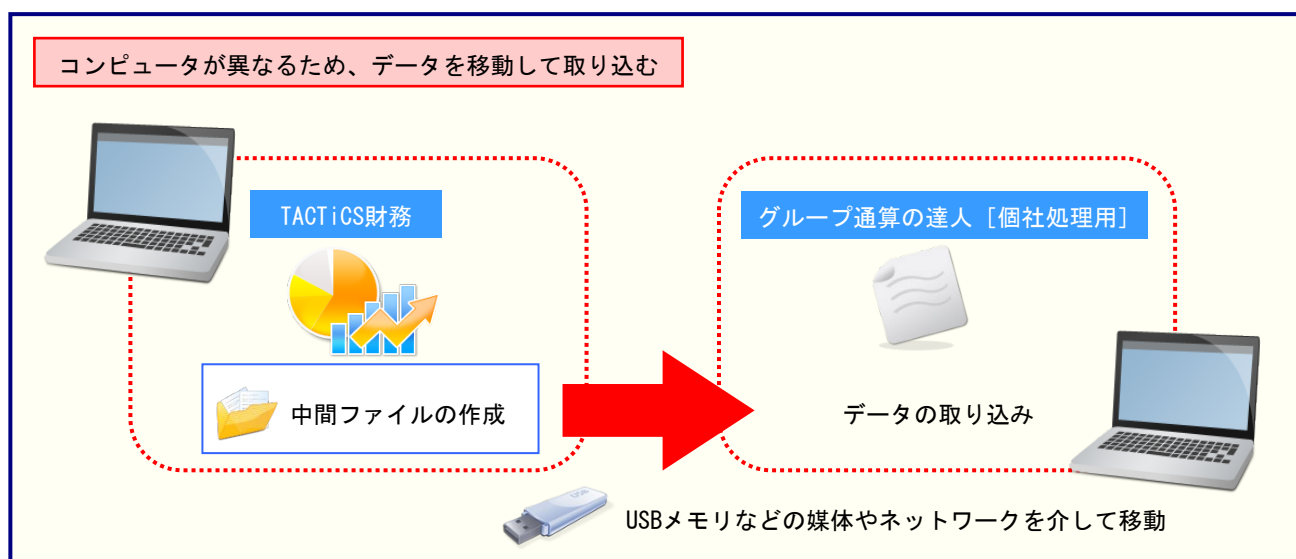
1.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしている場合

「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」で作成した中間ファイルを直接「グループ通算の達人〔個社処理用〕」に取り込みます。



2.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人[個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合

「TACTiCS財務」をインストールしているコンピュータで中間ファイルを作成し、「グループ通算の達人[個社処理用]」をインストールしているコンピュータで取り込みます。



5.操作方法

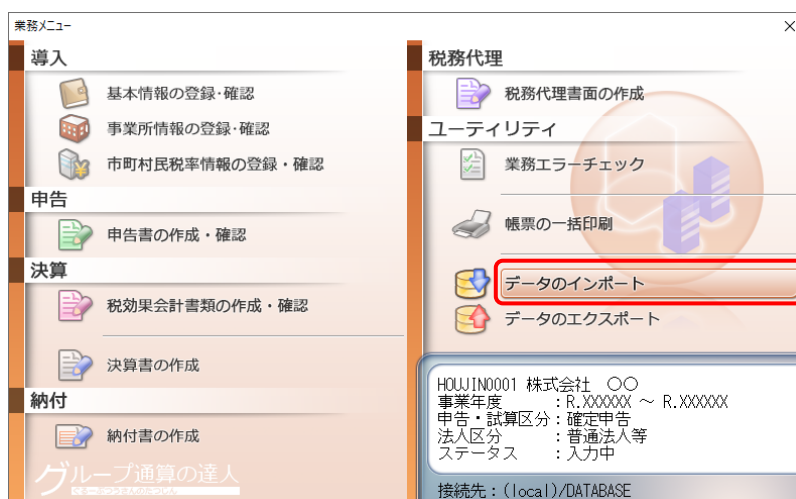
「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」を使って、以下の手順で連動します。

事前に「6.連動対象項目」（P.32）を必ずお読みください。

操作手順は、「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしているかどうかで異なります。

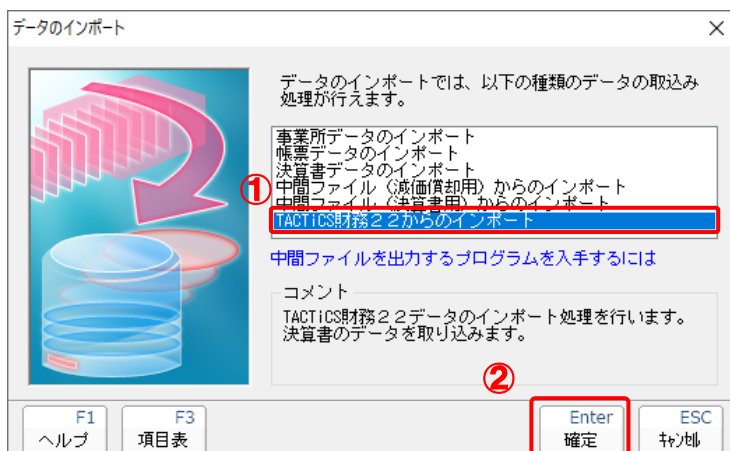
1.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしている場合

1. 「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



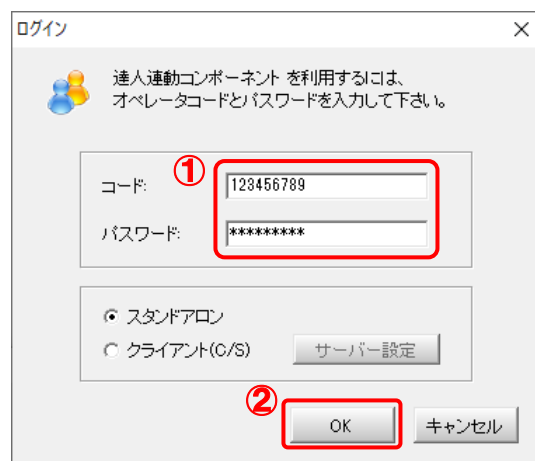
「データのインポート」画面が表示されます。

2. [TACTiCS財務22からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



[ログイン] 画面が表示されます。

3. 「TACTiCS財務」で登録したオペレータコードとパスワードを入力し(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



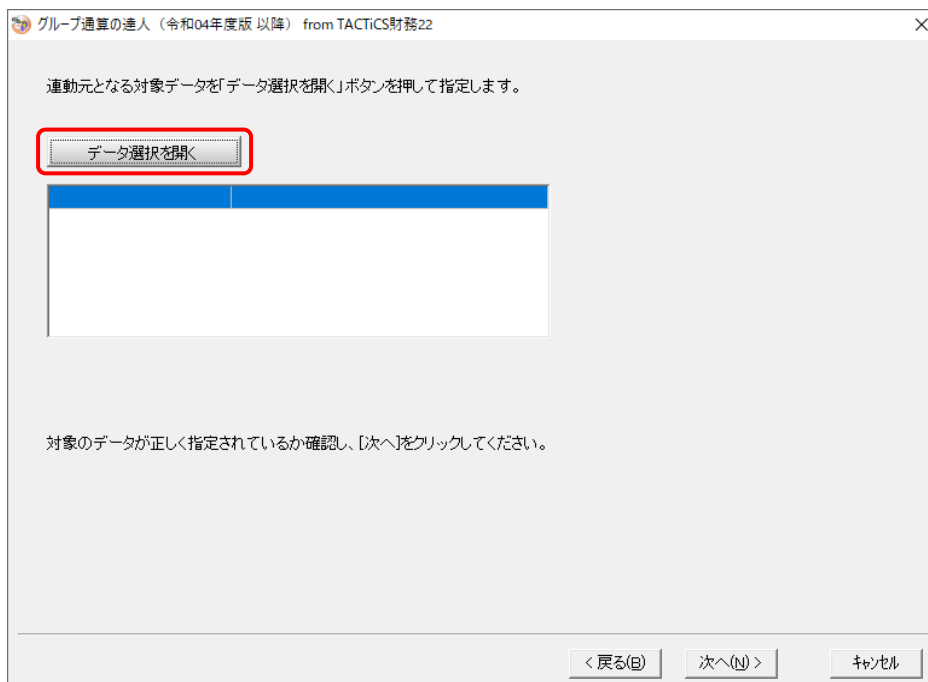
[グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務22] 画面が表示されます。

4. [次へ]ボタンをクリックします。



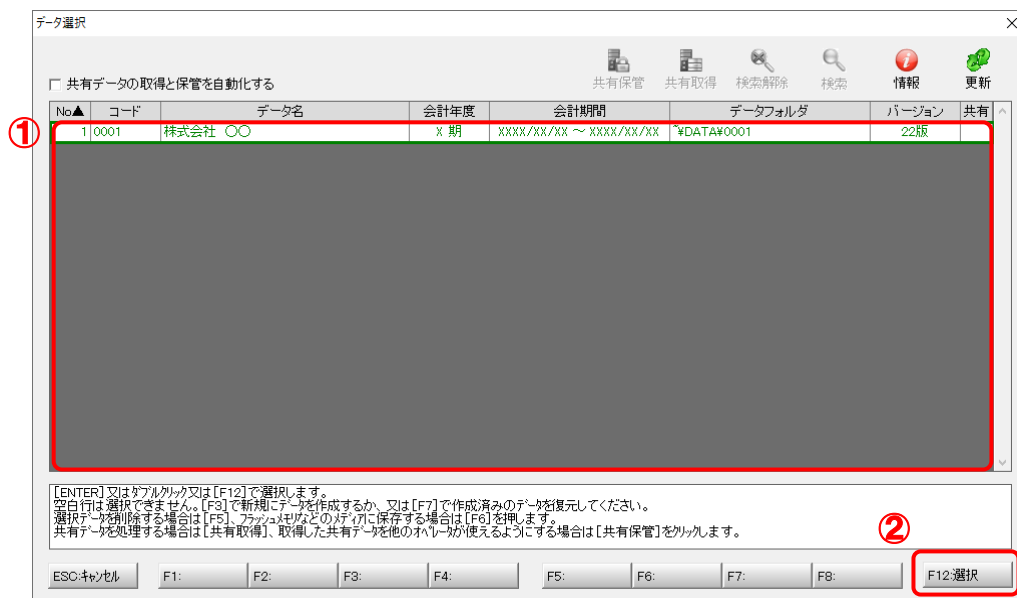
対象データの指定画面が表示されます。

5. [データ選択を開く]ボタンをクリックします。



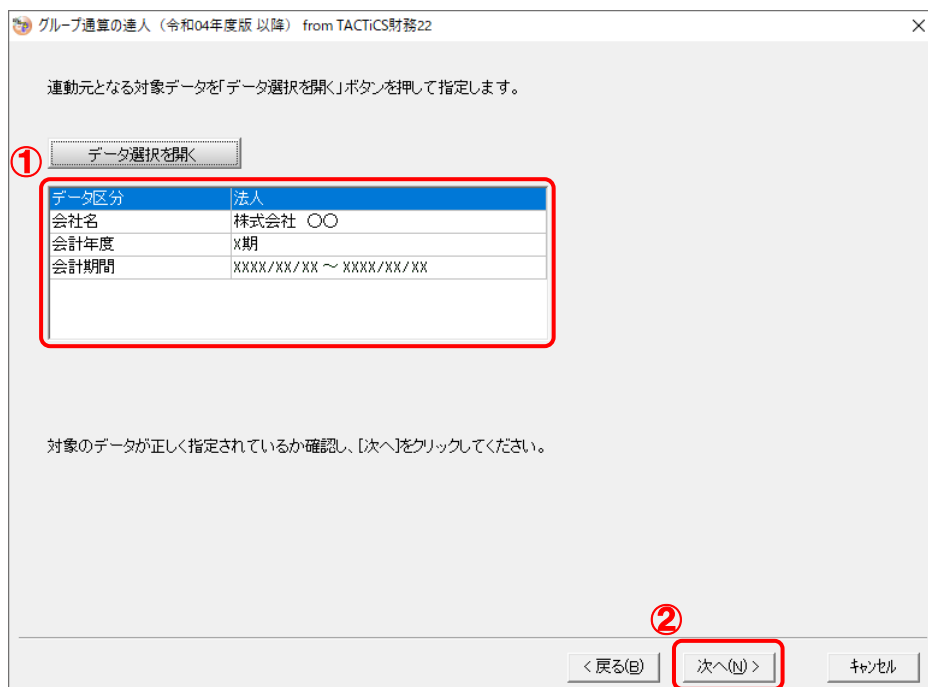
[データ選択] 画面が表示されます。

6. 「グループ通算の達人[個社処理用]」に取り込む「TACTiCS財務」のデータをクリックして選択し(①)、[F12:選択]ボタンをクリックします(②)。



対象データの指定画面に戻ります。

7. 対象データを確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



計算条件の指定画面が表示されます。

8. 計算条件を指定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版 以降) from TACTiCS財務22

計算条件を指定してください。

① 計算対象期間
4 5 6 · 7 8 9 · 10 11 12 · 1 2 3 決
期首月～6ヶ月目までを選ぶと上期、7ヶ月目以降を選ぶと通期として処理します。

消費税計算区分
☒ 税込み ☐ 税抜き

計算条件が正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

② 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

株主資本等変動計算書情報の設定画面が表示されます。

9. 株主資本等変動計算書の情報を設定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版 以降) from TACTiCS財務22

☒ 株主資本等変動計算書を作成する

株主資本等変動計算書で使用する勘定科目と変動事由の割り当てを設定します。

①

TACTiCS財務22の印刷名称	法人税の達人で使用する勘定科目
資本金	資本金
新株式申込証拠金	※※ 独自科目 ※※
資本準備金	資本準備金
資本金・資本準備金減少差益	※※ 独自科目 ※※
自己株式処分差益	※※ 独自科目 ※※

設定方法について:
①設定したい項目行でマウスをダブルクリックすると「選択がイロク」が開きます。
②「選択がイロク」のリストより対象項目を選んでください。

設定した項目の削除について:
①削除したい項目行で[Delete]キーを押してください。

②

TACTiCS財務22の変動事由	法人税の達人で使用する変動事由
新株の発行	新株の発行
剰余金の配当	剰余金の配当
剰余金の配当に伴う積立	※※ 独自事由 ※※
当期純損失	当期純利益
自己株式の処分	自己株式の処分

☒ 総勘定元帳を作成する

以上の設定でよろしければ、[次へ]をクリックしてください。

②

< 戻る(B) [次へ(N)] > キャンセル

確認画面が表示されます。

※ 全ての勘定科目と変動事由の割り当てが完了していないと先に進めません。

※ 達人側に受け渡しを行わない項目は、項目行をダブルクリックして表示される「使用できる勘定科目／変動事由」画面で、最下行の「※※ 割り当てしない ※※」をクリックして選択します。

10. 内容を確認し(①)、[完了]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版 以降) from TACTiCS財務22

以上で設定が完了しました。
内容を確認し、よろしければ[完了]をクリックしてください。

①

【連動元情報】
会社名 : 株式会社 ○○
会計年度 : X 期
会計期間 : XXXX年XX月XX日 ~ XXXX年XX月XX日

【計算条件】
計算対象期間 : XXXX年XX月 ~ XX年XX月
消費税計算区分: 税込み

【制約事項】
1) 法人決算書>個別注記表タブ>テンプレートで「連動連動」選択時に限り、
個別注記表の連動を行います。

②

< 戻る(B) [完了(E)] キャンセル

[インポート対象設定] 画面が表示されます。

11. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。

インポート対象設定

①

帳票名	項目名
☒ 決算書	
☒ 貸借対照表	
☒ 損益計算書	
☒ 製造原価報告書	
☒ 株主資本等変動計算書	
☒ 個別注記表	

■決算書の設定

業種パターン設定
業種: 一般商工業

貸借対照表の個別表示パターン設定

1. 流動資産
貸借対照表 貸借対照表
一括控除

2. 有形固定資産
減価償却累計額
科目別控除
減損損失累計額
科目別控除

3. 投資その他の資産
貸借対照表 貸借対照表
一括控除

減価償却累計額及び
減損損失累計額
一括控除

減価償却累計額及び
減損損失累計額
一括控除

損益計算書の個別表示パターン設定

1. 売上高
科目別掲記
2. 売上原価
期首商品たな卸高、当期商品仕入高、期末商品棚卸高の区分掲記

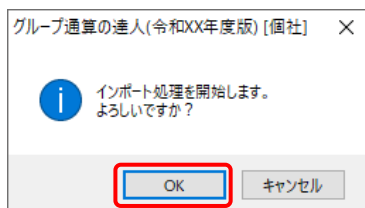
3. 販売費及び一般管理費
費目別掲記

②

F1 ヘルプ F5 選択 F6 新規登録 F7 削除 F8 確認 F9 初期値 F11 全選択 Enter 実行 ESC キャンセル

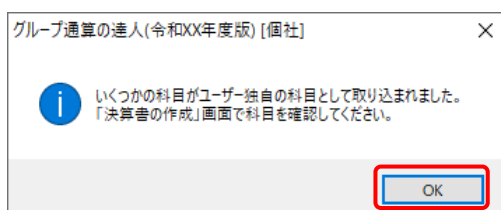
インポートの確認メッセージが表示されます。

12. [OK]ボタンをクリックします。



取込の確認メッセージが表示されます。

13. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。データの作成（中間ファイルの作成）が終了すると同時に、「グループ通算の達人 [個社処理用]」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動後には、「グループ通算の達人 [個社処理用]」側で科目の取込設定を行う必要があります。
 操作手順については『[法人税の達人 運用ガイド](#)』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください（運用ガイドは「法人税の達人」ですが、操作手順は同じです）。

2.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人[個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合

1. Windowsのスタートメニュー[達人シリーズ]―[グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務22]をクリックします。

[ログイン] 画面が表示されます。

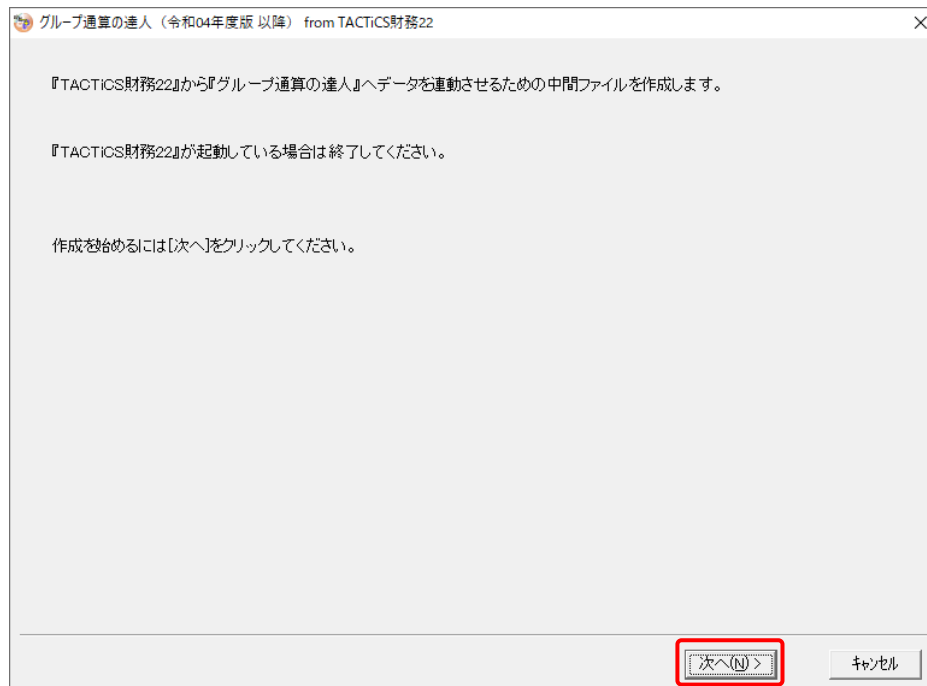
※ Windows 11 の場合は、Windows のスタートメニュー [すべてのアプリ] をクリックして表示される [すべてのアプリ] 画面で、[達人シリーズ] ― [グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務22] をクリックします。

※ Windows 8.1 の場合は、[アプリ] 画面に表示されている [グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務22] をクリックします。

2. 「TACTiCS財務」で登録したオペレータコードとパスワードを入力し(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。

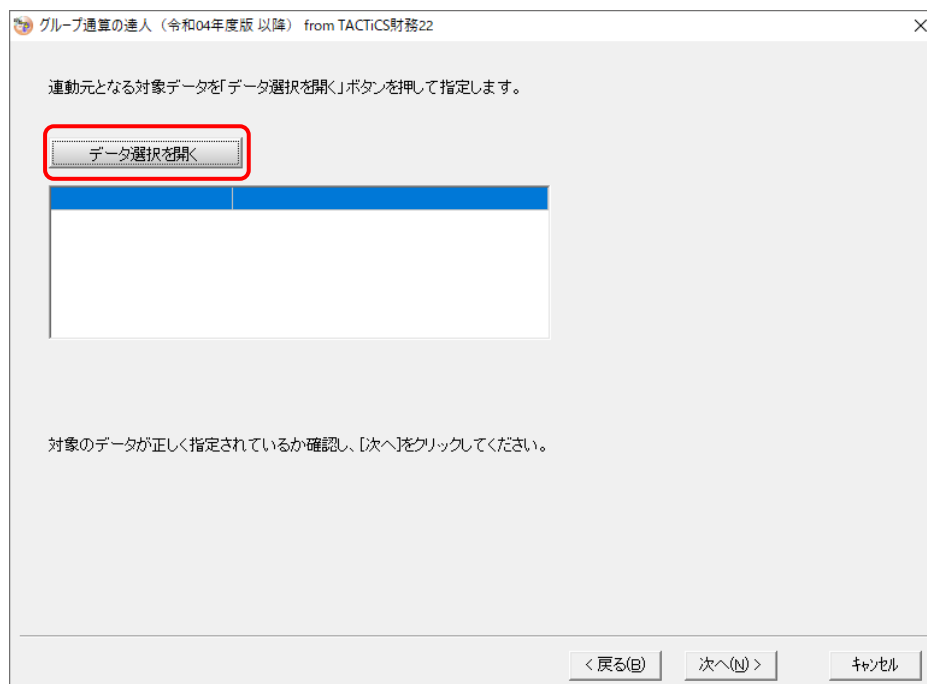
[グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務22] 画面が表示されます。

3. [次へ]ボタンをクリックします。



対象データの指定画面が表示されます。

4. [データ選択を開く]ボタンをクリックします。



[データ選択] 画面が表示されます。

5. 「グループ通算の達人[個社処理用]」に取り込む「TACTiCS財務」のデータをクリックして選択し(①)、[F12:選択]ボタンをクリックします(②)。

データ選択

☐ 共有データの取得と保管を自動化する

共有保管 共有取得 検索解除 検索 情報 更新

No▲	コード	データ名	会計年度	会計期間	データフォルダ	バージョン	共有
1	0001	株式会社 ○○	X 期	XXXX/XX/XX ~ XXXX/XX/XX	*DATA#0001	22版	

[ENTER] 又はダブルクリック又は[F12]で選択します。
空白行は選択できません。[F3]で新規にデータを作成するか、又は[F7]で作成済みのデータを復元してください。
選択データを削除する場合は[F5]、フラッシュメモリなどのメディアに保存する場合は[F6]を押します。
共有データを処理する場合は[共有取得]、取得した共有データを他のオペレータが使えるようにする場合は[共有保管]をクリックします。

ESC:キャンセル F1: F2: F3: F4: F5: F6: F7: F8: F12:選択

対象データの指定画面に戻ります。

6. 対象データを確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版 以降) from TACTiCS財務22

運動元となる対象データを「データ選択を開く」ボタンを押して指定します。

① データ選択を開く

データ区分	法人
会社名	株式会社 ○○
会計年度	X 期
会計期間	XXXX/XX/XX ~ XXXX/XX/XX

対象のデータが正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

② <戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

計算条件の指定画面が表示されます。

7. 計算条件を指定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版 以降) from TACTiCS財務22

計算条件を指定してください。

①

計算対象期間

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決

期首月～6ヶ月目までを選ぶと上期、7ヶ月目以降を選ぶと通期として処理します。

消費税計算区分

☒ 税込み ☐ 税抜き

計算条件が正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

②

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

株主資本等変動計算書情報の設定画面が表示されます。

8. 株主資本等変動計算書の情報を設定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版 以降) from TACTiCS財務22

☒ 株主資本等変動計算書を作成する

株主資本等変動計算書で使用する勘定科目と変動事由の割り当てを設定します。

①

TACTICS財務22の印刷名称	法人税の達人で使用する勘定科目
資本金	資本金
新株式申込証拠金	※※ 独自科目 ※※
資本準備金	資本準備金
資本金・資本準備金減少差益	※※ 独自科目 ※※
自己株式処分差益	※※ 独自科目 ※※

設定方法について:
①設定したい項目行でマウスをダブルクリックすると「選択ダイアログ」が開きます。
②「選択ダイアログ」のリストより対象項目を選んでください。

TACTICS財務22の変動事由	法人税の達人で使用する変動事由
新株の発行	新株の発行
剰余金の配当	剰余金の配当
剰余金の配当に伴う積立	※※ 独自事由 ※※
当期純損失	当期純利益
自己株式の処分	自己株式の処分

設定した項目の削除について:
①削除したい項目行で[Delete]キーを押してください。

☒ 総勘定元帳を作成する

以上の設定でよろしければ、[次へ]をクリックしてください。

②

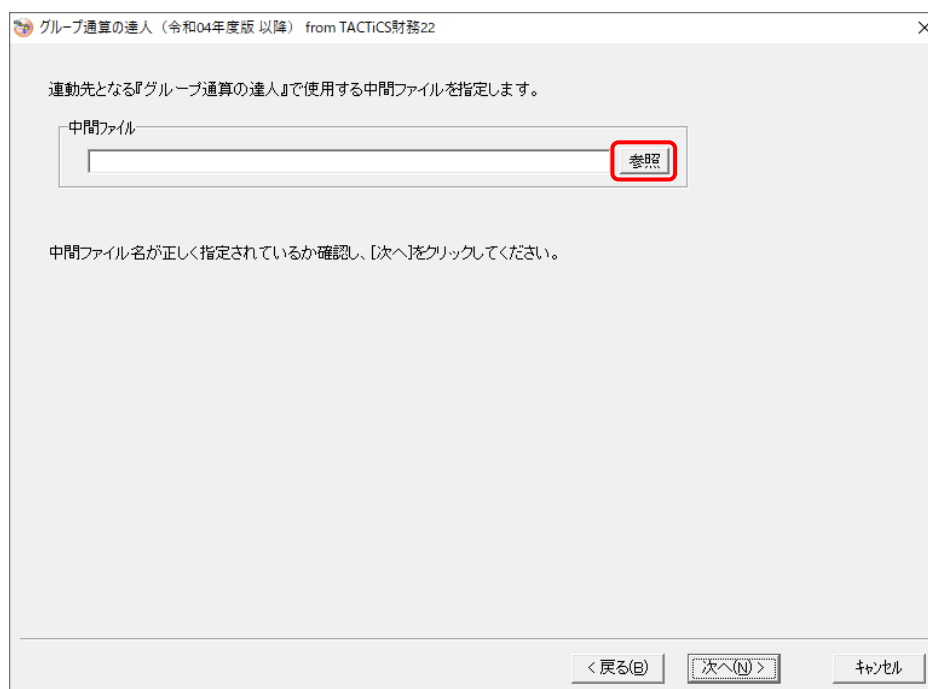
< 戻る(B) [次へ(N) > キャンセル

中間ファイルの指定画面が表示されます。

※ 全ての勘定科目と変動事由の割り当てが完了していないと先に進めません。

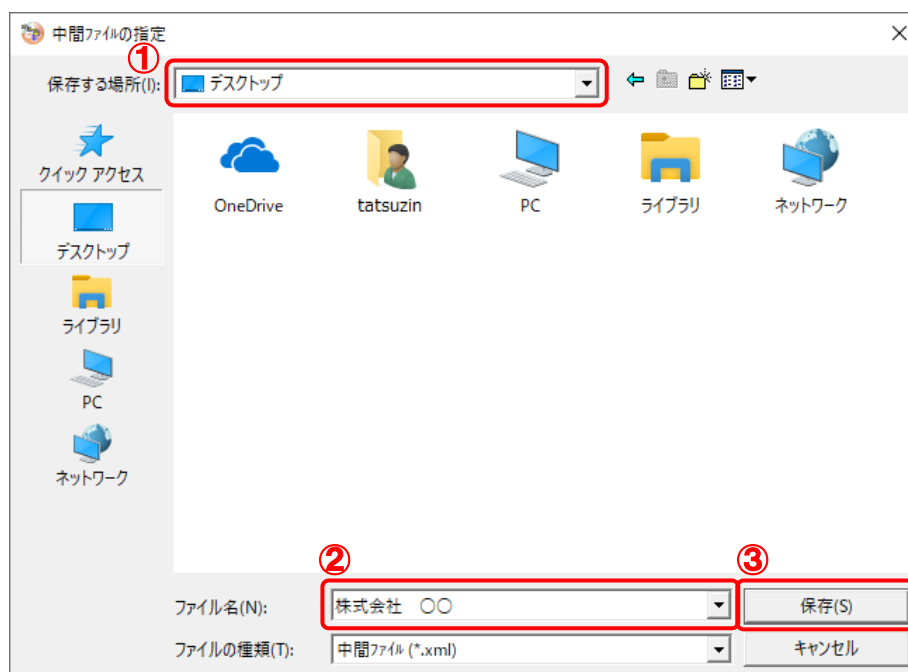
※ 達人側に受け渡しを行わない項目は、項目行をダブルクリックして表示される「使用できる勘定科目／変動事由」画面で、最下行の「※※ 割り当てしない ※※」をクリックして選択します。

9. [参照]ボタンをクリックします。



[中間ファイルの指定] 画面が表示されます。

10. [保存する場所](①)と[ファイル名]を指定し(②)、[保存]ボタンをクリックします(③)。



中間ファイルの指定画面に戻ります。

※ 出力先のファイル拡張子にはxmlを指定してください。

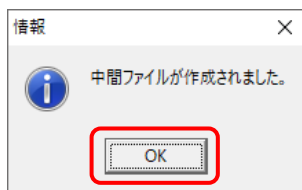
11. [中間ファイル]を確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

確認画面が表示されます。

12. 内容を確認し(①)、[完了]ボタンをクリックします(②)。

終了画面が表示されます。

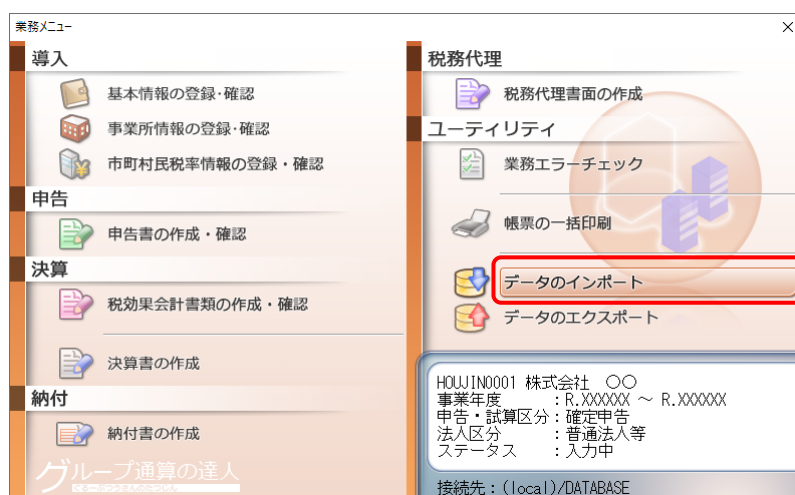
13. [OK]ボタンをクリックします。



手順10で指定した「保存する場所」に、中間ファイルが作成されます。

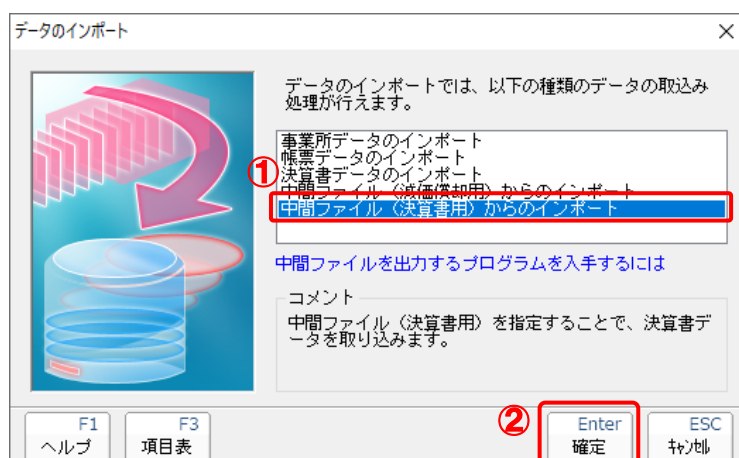
14. 作成された中間ファイルを、USBメモリなどの媒体やネットワークを介して「グループ通算の達人[個社処理用]」をインストールしているコンピュータに移動します。

15. 「グループ通算の達人[個社処理用]」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



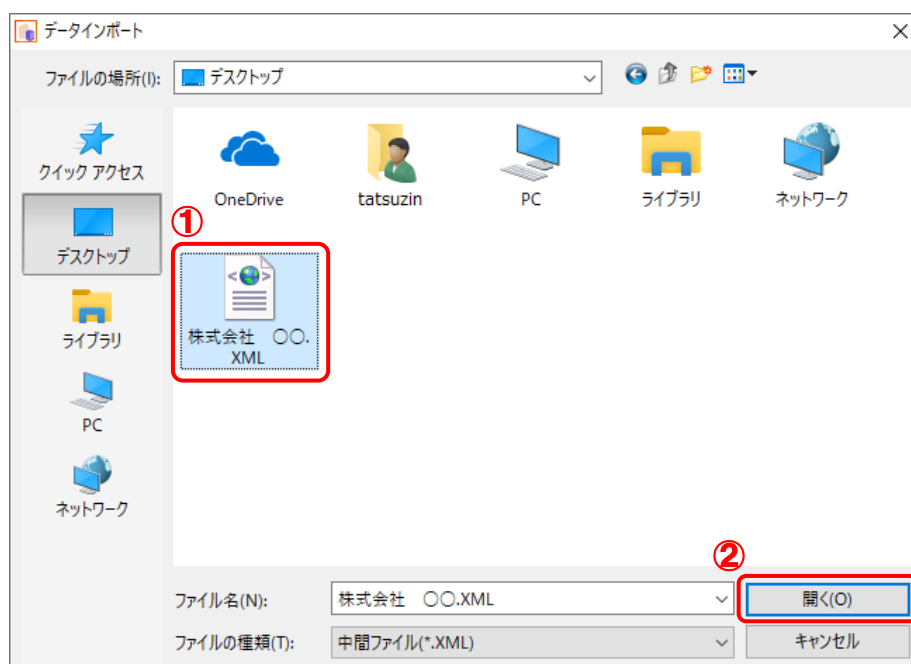
「データのインポート」画面が表示されます。

16. [中間ファイル(決算書用)からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



[データインポート] 画面が表示されます。

17. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



[インポート対象設定] 画面が表示されます。

18. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。

The screenshot shows the 'インポート対象設定' (Import Target Setting) dialog box. On the left, under '帳票名' (Statement Name), several items are listed with checkboxes: 貸借対照表 (Balance Sheet), 損益計算書 (Income Statement), 製造原価報告書 (Manufacturing Cost Report), 株主資本等変動計算書 (Statement of Changes in Equity), and 個別注記表 (Notes). A red circle with the number 1 highlights the selection area. On the right, under '決算書の設定' (Financial Statement Settings), there are sections for '業種/パターン設定' (Industry/Pattern Setting), '貸借対照表の個別表示パターン設定' (Balance Sheet Individual Display Pattern Setting), and '損益計算書の個別表示パターン設定' (Income Statement Individual Display Pattern Setting). A red box with the number 2 highlights the 'Enter 実行' (Execute) button at the bottom right.

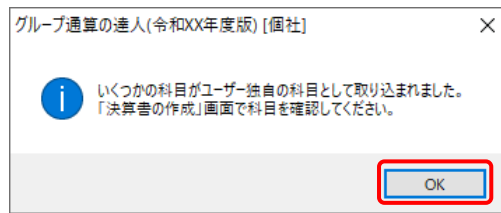
インポートの確認メッセージが表示されます。

19. [OK]ボタンをクリックします。

The screenshot shows a confirmation message dialog box titled 'グループ通算の達人(令和XX年度版) [個社]'. It contains an information icon and the text: 'インポート処理を開始します。よろしいですか?' (Start import processing. Is it okay?). At the bottom, there are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel). The 'OK' button is highlighted with a red box.

取込の確認メッセージが表示されます。

20. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

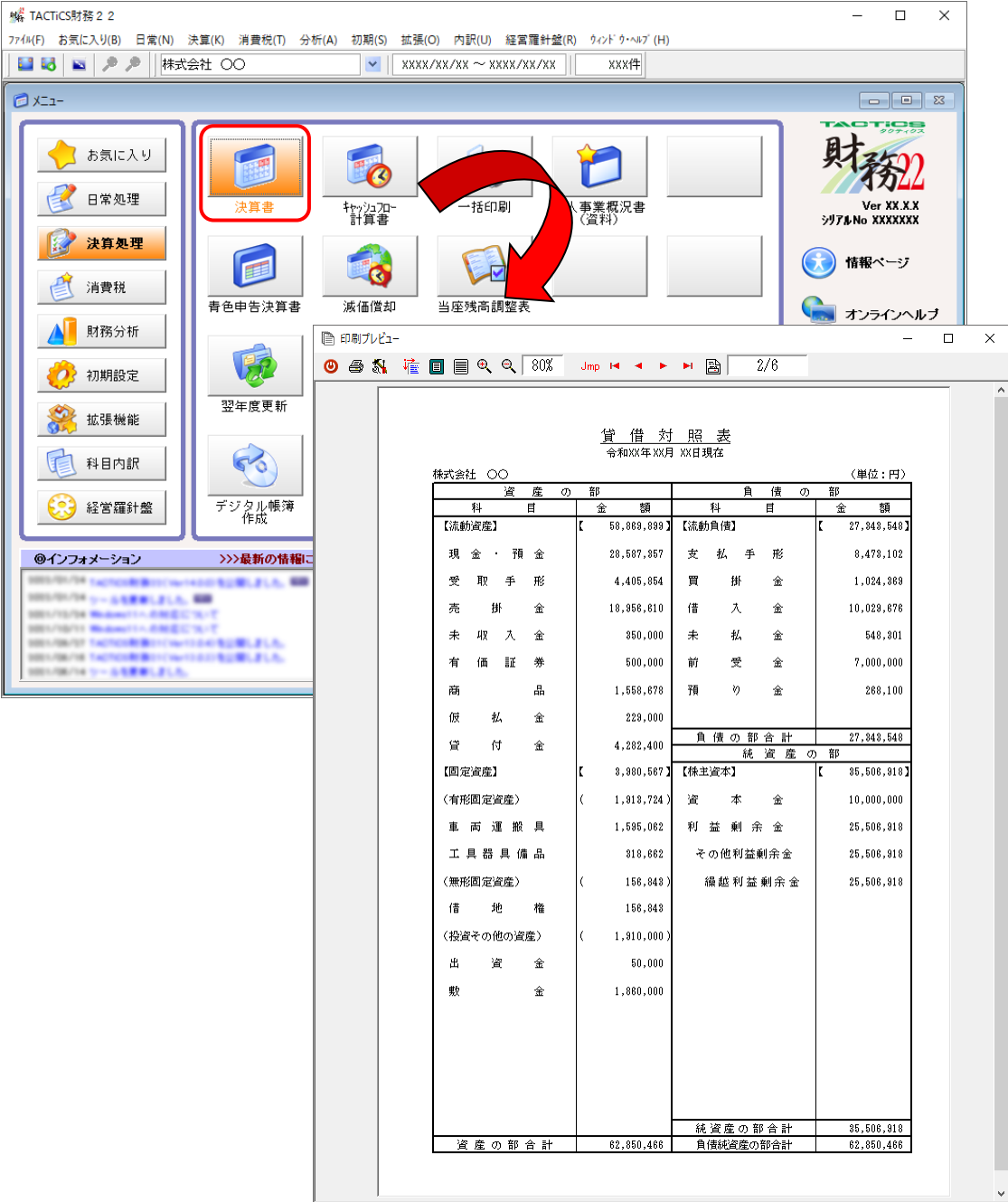
連動後には、「グループ通算の達人 [個社処理用]」側で科目の取込設定を行う必要があります。
操作手順については『[法人税の達人 運用ガイド](#)』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください（運用ガイドは「法人税の達人」ですが、操作手順は同じです）。

6.連動対象項目

「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」では、「TACTiCS財務」の決算書よりデータを取り込みます。

「TACTiCS財務」から連動するデータ(連動元)

「TACTiCS財務」からはメニュー「決算処理」－「決算書」のデータが連動します。



The screenshot shows the TACTiCS 財務22 application window. The '決算処理' (Financial Statement Processing) menu item is highlighted with a red box. A red arrow points from this menu item to the '貸借対照表' (Balance Sheet) table displayed in the main window.

貸借対照表
令和XX年XX月 XX日現在
株式会社 ○○ (単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	58,889,899	【流動負債】	27,349,548
現金・預金	28,587,357	支払手形	8,478,102
受取手形	4,405,854	買掛金	1,024,368
売掛金	18,956,810	借入金	10,028,876
未収入金	350,000	未払金	548,301
有価証券	500,000	前受金	7,000,000
商品	1,558,878	預り金	268,100
仮払金	229,000		
貸付金	4,282,400	負債の部合計	27,349,548
【固定資産】	3,380,567	純資産の部	
有形固定資産	1,913,724	【株主資本】	35,508,918
車両運搬具	1,595,062	資本金	10,000,000
工具器具備品	318,662	利益剰余金	25,508,918
無形固定資産	156,843	その他利益剰余金	25,508,918
借地権	156,843	繰越利益剰余金	25,508,918
投資その他の資産	1,810,000		
出資金	50,000		
敷金	1,860,000		
資産の部合計	62,850,466	純資産の部合計	35,508,918
		負債純資産の部合計	62,850,466

「グループ通算の達人[個社処理用]」に連動するデータ(連動先)

「グループ通算の達人[個社処理用]」に連動するデータは以下のとおりです。次ページ以降の各画面の太枠部分が連動対象項目です。

決算書

貸借対照表
損益計算書
製造原価報告書
株主資本等変動計算書
個別注記表



注意

「個別注記表」は、「TACTiCS財務」の「法人決算書」画面－「個別注記表」タブ－「テンプレート」で「達人連動」を選択している場合のみ連動対象となります。

申告書

入力用帳票 [六(一)・八(一)]
別表十四(二)
別表十五



参考

インポート・エクスポート可能な項目の詳細については以下をご確認ください。

[参照]  https://www.tatsuzin.info/products_gt/

「インポート機能で帳票の作成にかかる時間を削減」

貸借対照表

決算書の作成

貸借対照表

損益計算書

製造原価報告書

株主資本等変動計算書

個別注記表

科目	金額	加算減算
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		
受取手形及び売掛金		
受取手形		
売掛金		
割賦売掛金		
売買目的有価証券及び1年以内に満期の到来する有価証券		
有価証券		
親会社株式		
金銭の信託		
営業投資有価証券		
たな卸資産		
商品		
製品、副産物及び作業くず		
製品		
商品及び製品		
半製品		
原料及び材料		
原材料		
原材料及び貯蔵品		
仕掛品及び半成工事		
仕掛品		

: ユーザーが独自に追加した科目等

☒ 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 ☐ 金額又は値がない科目を表示しない
 ☐ ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ

F2 閉じる

F3 検索

F4 利益処分

F5 企業情報

F6 科目追加

F7 科目削除

F8 科目変更

F9 印刷

F11 取込設定

F12 漢字

Enter 選択

損益計算書

決算書の作成

貸借対照表

損益計算書

製造原価報告書

株主資本等変動計算書

個別注記表

科目	金額	加算減算
営業活動による収益		
売上高		
売上高		
営業活動による費用・売上原価		
売上原価		
売上原価		
売上総利益又は売上総損失(△)		
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費		
営業利益又は営業損失(△)		
全事業営業利益又は全事業営業損失(△)		
営業外収益		
受取利息		
有価証券利息		
受取配当金		
仕入割引		
投資不動産賃貸料		
還付消費税等		
負ののれん償却額		
持分法による投資利益		
為替差益		
有価証券売却益		
投資有価証券売却益		

☒ : ユーザーが独自に追加した科目等
☒ 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない
☐ ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1ヘルプ

F2閉じる

F3検索

F4利益処分

F5企業情報

F6科目追加

F7科目削除

F8科目変更

F9印刷

F11取込設定

F12漢字

Enter選択

製造原価報告書

決算書の作成

貸借対照表

損益計算書

製造原価報告書

株主資本等変動計算書

個別注記表

検索

科目	金額	加算減算
仕入原価		
期首たな卸高		
商品仕入高		
仕入値引・戻し高		
合計		
期末たな卸高		
材料費		
期首原材料たな卸高		
当期原材料仕入高		
非課税原材料仕入		
薬品仕入高		
診療材料仕入高		
給食材料仕入高		
医療消耗備品仕入高		
原材料仕入値引戻し高		
原材料割戻し高		
その他の原材料仕入高		
合計		
期末原材料たな卸高		
主要材料費		
補助材料費		
労務費		
固定費		

: ユーザーが独自に追加した科目等

☒ 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない

☐ 金額又は値がない科目を表示しない

☐ ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ

F2 閉じる

F3 検索

F4 利益処分

F5 企業情報

F6 科目追加

F7 科目削除

F8 科目変更

F9 印刷

F11 取込設定

F12 漢字

Enter 選択

株主資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表

損益計算書

製造原価報告書

株主資本等変動計算書

個別注記表

科目	金額
株主資本	
資本金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
その他資本剰余金	
当期首残高	
当期変動額	
剰余金（その他資本剰余金）の配当	
自己株式の処分	
自己株式の消却	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金合計	

☐ : ユーザーが独自に追加した科目等
☒ 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない
☐ ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1

ヘルプ

F2

閉じる

F3

検索

F4

利益処分

F5

全計算

F6

科目追加

F7

科目削除

F8

科目変更

F9

印刷

F11

取込設定

F12

漢字

Enter

選択

個別注記表

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索

注記事項	設定内容
継続企業の前提に関する注記	
重要な会計方針に係る事項に関する注記	
資産の評価基準及び評価方法	
有価証券の評価基準及び評価方法	
たな卸資産の評価基準及び評価方法	
固定資産の減価償却の方法	
引当金の計上基準	
収益及び費用の計上基準	
その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項	
金利の取得原価算入	
その他	
項目名	
内容	
会計処理の原則又は手続の変更	
表示方法の変更	
貸借対照表に関する注記	
担保資産及び担保付債務	
資産の部から直接控除した貸倒引当金	
流動資産	
投資その他の資産	
有形固定資産の減価償却累計額	
保証債務額	
受取手形割引高	

📄 : ユーザーが独自に追加した科目等

☒ 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない

☐ 金額又は値がない科目を表示しない

☐ ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ

F2 閉じる

F3 検索

F4 利益処分

F5 企業情報

F6 科目追加

F7 科目削除

F8 科目変更

F9 印刷

F11 取込設定

F12 漢字

Enter 選択

入力用帳票[六(一)・八(一)]

所得税額・受取配当等計算シート		事業年度	法人名
1. 預貯金等の利子			
銀行名	1		
支払いを受けた年月日	2	・ ・	・ ・
手取額	3	円	円
税率	4	%	%
所得税額	5	円	円
収入金額	6	円	円
2. 受取配当等			
所得税控除計算区分		剰余金の配当、利益の配当及び剰余金の分配	剰余金の配当、利益の配当及び剰余金の分配
計算期間【1年超】		7	8
計算期間【1年以内】			9
別表六(一)控除を受ける所得税額			
受取配当等の明細			
法人名又は銘柄	10		
支払いを受けた年月日	11	・ ・	・ ・
株式等区分	12		
所得税額控除区分	13		
本店の所在地	14		
基準日	15	・ ・	・ ・
計算期間の月数	16	月	月
配当等の計算期間	17	・ ・	・ ・
保有割合	18		
手取額	19	円	円
税率	20	%	%
所得税額	21	円	円
収入金額	22	円	円
配当等の計算期間首における所有元本数等	23		
配当等の計算期末における所有元本数等	24		
短期所有株式等の計算	25		
配当等の計算期間の期末より1か月前の所有株式	26		
配当等の計算期間の期末以前1か月以内の取得株式	27		
配当等の計算期間の期末後2か月以内の取得株式	28		
配当等の計算期間の期末後2か月以内の譲渡株式	29		
(22)のうち益金算入される金額	30	円	円
所得税額控除の個別法による場合の計算			
所有期間の異なる月数ごとの期末における所有元本数等	31		
所有期間の月数	32	月	月
収入金額	33	円	円
所得税額	34	円	円

別表十四(二)

寄附金の損金算入に関する明細書										事業年度	法人名	別表十四(二)
公益法人等以外の法人の場合										公益法人等の場合		
一般寄附金の損金算入限度額の計算	支出した寄附金の額	1	円	損金算入限度額の計算	支出した寄附金の額	25	円	令四・四・一 以後終了事業年度分				
	指定寄附金等の金額 (41の計)	2			長期給付事業への繰入利子額	26						
	特定公益増進法人等に対する寄附金額 (42の計)	3			同上以外のみなし寄附金額	27						
	その他の寄附金額	4			その他の寄附金額	28						
	計 (1)+(2)+(3)	5			計 (25)+(26)+(27)	29						
	完全支配関係がある法人に対する寄附金額	6			所得金額仮計 (別表四「26の①」)	30						
	計 (4)+(5)	7			寄附金支出前所得金額 (28)+(29) (マイナスの場合は0)	31						
	所得金額仮計 (別表四「26の①」)	8			同上の $\frac{2.5}{100}$ 相当額	32						
	寄附金支出前所得金額 (6)+(7) (マイナスの場合は0)	9			公益社団法人又は公益財団法人の公益法人特別限度額 (別表十四(二)付表「3」)	33						
	同上の $\frac{2.5}{100}$ 相当額	10			長期給付事業を行う共済組合等の損金算入限度額 ((25)と(26)の平均の5%相当額のうち少ない金額)	34						
	同上の月数換算額 (10)× $\frac{12}{12}$	11			損金算入限度額 (31)+(32)+(33)+(34)	35						
	同上の $\frac{2.5}{1,000}$ 相当額	12			指定寄附金等の金額 (41の計)	36						
	一般寄附金の損金算入限度額 ((9)+(12))× $\frac{1}{4}$	13			国外関連者に対する寄附金額及び完全支配関係がある法人に対する寄附金額 (28)の寄附金額のうち同上の寄附金以外の寄附金額 (28)-(36)	37						
	寄附金支出前所得金額の $\frac{6.25}{100}$ 相当額 ((8)× $\frac{6.25}{100}$)	14			同上のうち損金の額に算入されない金額 (37)-(34)-(35)	38						
	特定公益増進法人等に対する寄附金の損金算入限度額 ((13)+(14)又は(14))のうち少ない金額	15			国外関連者に対する寄附金額及び完全支配関係がある法人に対する寄附金額 (36)	39						
	指定寄附金等の金額 (1)	16			計 (38)+(39)	40						
国外関連者に対する寄附金額及び本店等に対する内部寄附金額 (4)の寄附金額のうち同上の寄附金以外の寄附金額 (4)-(19)	17											
同上のうち損金の額に算入されない金額 (20)-(19)又は(15)-(17)-(18)	18											
国外関連者に対する寄附金額及び本店等に対する内部寄附金額 (19)	19											
完全支配関係がある法人に対する寄附金額 (5)	20											
計 (21)+(22)+(23)	24											
指定寄附金等に関する明細												
寄附した日	寄附先	告示番号	寄附金の使途	寄附金額								
				41								
				円								
計												
特定公益増進法人若しくは認定特定非営利活動法人等に対する寄附金又は認定特定公益信託に対する支出金の明細												
寄附した日又は支出した日	寄附先又は受託者	所在地	寄附金の使途又は認定特定公益信託の名称	寄附金額又は支出金額								
				42								
				円								
計												
その他の寄附金のうち特定公益信託(認定特定公益信託を除く。)に対する支出金の明細												
支出した日	受託者	所在地	特定公益信託の名称	支出金額								
				円								

別表十五

交際費等の損金算入に関する明細書				事業年度	法人名
支出交際費等の額 (8の計)	1	円	損金算入限度額 (2)又は(3)	4	円
支出接待飲食費損金算入基準額 (9の計)× $\frac{50}{100}$	2		損金不算入額 (1)-(4)	5	
中小法人等の定額控除限度額 ((1)と((800万円× $\frac{12}{12}$))又は (別表十五付表「5」)のうち少ない金額)	3				
支出交際費等の額の明細					
科 目	支 出 額	交際費等の額から 控除される費用の額	差引交際費等の額	(8)のうち接待飲食費の額	
	6	7	8	9	
交 際 費	円	円	円	円	
計					

別表十五
令四・四・一 以後終了事業年度分

7.アンインストール方法

「グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務22」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。その場合は「はい」ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

1. Windowsのスタートメニュー[Windowsシステムツール]－[コントロールパネル]をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

※ Windows 11 の場合は、Windows のスタートメニュー「すべてのアプリ」をクリックして表示される「すべてのアプリ」画面で、「Windows ツール」－「コントロールパネル」をクリックします。

※ Windows 8.1 の場合は、「アプリ」画面に表示されている「グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS 財務22」を右クリック－「アンインストール」をクリックし、手順3に進みます。

2. 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

※ 「コントロールパネル」画面をアイコン表示にしている場合は、「プログラムと機能」をクリックします。

3. 「グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務22」をクリックして選択し、「アンインストール」をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「はい」ボタンをクリックします。

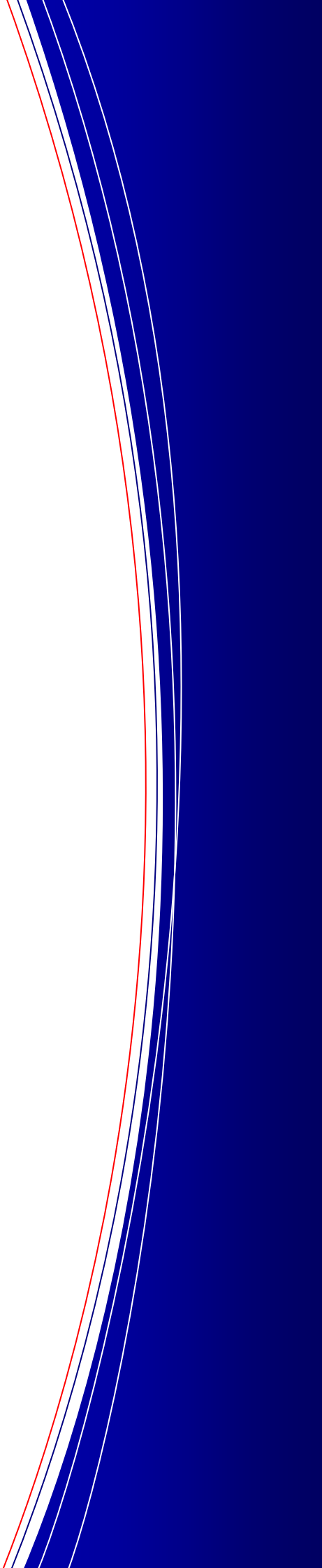
終了画面が表示されます。

5. 「OK」ボタンをクリックします。

以上で、「グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務22」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

- ・ 「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」のソフトウェア製品全体の著作権、工業所有権の一切の知的財産権は全国税理士データ通信協同組合連合会に帰属するものとします。
- ・ 「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」の複製物（バックアップ・コピー）は、不慮の事故に備えて1部のみ作成することができます。
- ・ 「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」を使用した結果の損害及び影響について、原因のいかんを問わず、弊社及び全国税理士データ通信協同組合連合会は一切の賠償の責任を負いません。
- ・ 「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」のプログラム及びドキュメント等の一部または全部をどのような場合でもその形態を問わず無断で解析・改造・配布等を行うことはできません。
- ・ 「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務22」のソフトウェア製品仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。



グループ通算の達人(令和04年度版以降)fromTACTiCS財務22 運用ガイド

2022年7月9日初版
